

ようこそC2English Academyへ！皆さんのお越しを心より歓迎いたします
慣れない海外生活、初めての土地、留学、不安に思われることも多いでしょう
皆さんの留学生生活を成功させるために、C2English Academyで学ぶ上で守って頂きたい事、
サポート情報などをこちらにまとめました
2015.9.8

はじめに

- ☆トイレトペーパーは流せません。備え付けの容器に捨ててください
- ☆水道水は飲めません
- ☆フィリピンの時差は日本より-1時間。1時間遅くなります
- ☆タクシーを利用して学校に帰る場合は、当建物の名前『パシフィックスクエア』
(場所を知らないタクシーもありますので『キャッスルピークホテルの隣』と伝えてください)

- ★緊急連絡先:Skype : c2englishacademy
+63 0917-948-3679 (Manager 池田 歩)
+63 0917-764-8536 (Manager 田中 優也)
- ★Cebu doctor / Hospital : 0917-305- 2220
Japanese desk : 032-318-6507(日本人の看護師の方がいらっしゃいます)

- 到着後土日祝は特に予定はありませんので、自由に過ごしていただきます
※食事は土日祝もついています

初日:LEVEL TEST&オリエンテーション

- ・必要なもの:パスポート、写真3枚(SSP用3枚)、筆記用具、オリエンテーション資料(本紙)
※写真を忘れた方は、受付スタッフに伝えて下さい
- ・集合場所:午前8時までに朝食を済ませて学校内の受付に集合

【日程】

- 7:00~8:00 朝食(食堂)
- 8:00~12:00 入学手続き&LEVEL TEST&オリエンテーション
- 12:00~13:00 昼食(食堂)
- 13:00~14:30 両替やスーパー(FOODA)への案内
- 14:30~15:00 初期費用のお支払い
- 15:00~17:00 希望者はショッピングモール(Ayala)へ
- 17:00~18:00 夕食(食堂)

※上記日程は状況に応じて変更がある場合があります

授業に関して

■授業: 初日のLEVEL TESTの結果から渡される各自のスケジュールに従って受講してください

■1日の流れ

7:00~7:45	早朝クラス(オプションクラス)
7:00~8:00	朝食
8:00~8:45	① 1時間目
8:50~9:35	② 2時間目
9:40~10:25	③ 3時間目
10:30~11:15	④ 4時間目
11:20~12:05	⑤ 5時間目
12:05~13:05	⑥ 6時間目 OR 昼食 1部
12:55~13:55	⑦ 7時間目 OR 昼食 2部 (各スケジュールによって、1部か2部かが決まります。)
13:55~14:40	⑧ 8時間目
14:45~15:30	⑨ 9時間目
15:35~16:20	⑩ 10時間目
16:25~17:10	⑪ 11時間目
17:10~18:00	夕食
17:30~18:15	夜間クラス(オプションクラス)

■欠席について

- ・体調不良、または家族の訪問などで授業を欠席する場合受付に事前に連絡すること(欠席申請書の提出が必要)
- ・1週間に無断で2回欠席した場合、警告1
- ・授業開始10分が経過した場合、授業が自動的に削除され欠席扱いとなる。グループの場合10分を過ぎると参加不可。出席率90%未満の場合終了証の発給が不可

■バディティーチャー

一人ひとりに担任の先生がつきます。授業・評価・試験準備など多くの部分を相談可能

■講師変更

生徒は毎週木曜日に正当な理由が認められる場合のみ可能
次週の月曜日から新しい講師で受講になります

■期間延長に関して

- (1) 延長希望の場合は、授業開始の原則4週間前までにお申し込み下さい
- (2) 延長の場合、授業料は授業開始1週間前までに納めて頂きます
- (3) 延長登録時、初期登録した代理店以外を通じて延長することはできません

■各コース変更に関して

入学してから 1 週間以内のコース変更はできません。コースのアップグレードに関しては、差額を支払うことにより変更可能です。1:1 授業を自らの意志で減らすことはできますが、受講の有無に関わらず返金対象にはなりません

【返金なし】ESL コース内でのダウングレード(例: ESL8

→ESL5 / ESL10→ESL

【変更可】ESL5 からの試験対策/ビジネスへの変更

【特殊変更】ESL6 試験対策/ビジネス(1:1 - 4 コマ) + ESL (1:1 - 1 コマ)

【特殊変更】ESL8 試験対策/ビジネス(1:1 - 4 コマ) + ESL (1:1 - 3 コマ)

【特殊変更】ESL10 試験対策/ビジネス(1:1 - 4 コマ) + ESL (1:1 - 5 コマ)

■朝・夜間・土曜クラスの出席について(オプションクラス)

- ・朝、夜間クラス:出席予約したら欠席は認められません(1 回の欠席につき 300 ペンの罰金)
- ・土曜クラス:グループ授業 3 コマ
- ・申込みは水曜の 5 時まで

■教材購入

- ・テキスト:授業開始前までにテキストをお渡しします。翌日までにお支払いをお願いします
- ・返品及び交換:購入後 2 日以内に領収証を持参し、使用前のテキストのみ返品可能です(メモなどがある場合は返品不可)
- ・コピー及びプリントアウトについて:コピー:1 枚 2 ペン、プリントアウト(USB):1 枚 5 ペン

■試験

- ・テスト:入学後 4 週間ごとに Level up Test を実施します
 - ※入学した日から数えて 1 ヶ月なので、試験の日は学生によって異なります
 - ※テストの日付は約一週間前に掲示、お知らせ致します
 - ※何らかの都合により当日以外の日にちをご希望の方は別途 1,000 ペン
 - ※TOEIC 模擬試験を校内で受講の場合は 500 ペン

学校施設/サービスについて

■インターネット(FREE WIFI)利用【学校内のみインターネット利用可】

<1F>

ID:C2English1_A ・ C2English1_G /PW:WeTeachC2English

ID:C2English2_A ・ C2English2_G /PW:WeCreateC2English

<2F>

ID:C2Second_1 ・ C2Second_2 /PW:WeStudyC2English

■喫煙

指定した場所でのみ喫煙可能。室内での喫煙は不可、発見時警告及び退学処置(掃除時にスタッフがチェックします)

■自習室

- ・場所取り禁止
- ※所持品が紛失した際、学校では一切責任を負いません

■リクエストスリップ

寮で何か不具合があった場合、受付にてリクエストスリップにて申告

用紙記入後、オフィススタッフに申請すると、メンテナンススタッフが対応(例:シーツの交換、電球の交換、シャワーの出が悪い、トイレが詰まった等)

対応中は学生が立ち会う。事情により立ち会えない場合はオフィススタッフにご相談ください

■ルームクリーンサービス

掃除:週2回(スケジュールは階により異なります)

2階:月・木

4階:火・金

※専属クリーニングスタッフと、付き添いで事務スタッフが掃除を行います(生徒立会不要)

※必ず貴重品はスーツケースに入れて鍵をかける等ご自分で管理をして下さい

※祝日は掃除が入りません

■ランドリーサービス

申請方法:事前に洗濯物申請書を必ず記入をし、洗濯物は決められた曜日の**午前9:00**までに**Kitchen入口横のカゴ**に出してください。記入がない場合は洗濯が出来ません

※曜日については曜日ごとに異なります(週2日)受取は4~5日後

男性:月・木

女性:火・金

※高価な衣類や大切な洋服などは個人で洗濯することをお勧めします

万が一ランドリーに預け損傷があっても学校では一切責任を負いません

■食事について

昼食、夕食はお弁当支給

平日の夕食、週末に関して、食事チェックをお願いします

昼食時までには、食べない方は、✕をつけるようお願い致します。

<注意事項>

上記、平日の夕食、祝前日、週末分の食事チェックをもとにして、お弁当の数を把握し、名前を付けてお渡し致します。食事のチェックを忘れてしまった場合、お食事の準備はされません。

また、規定時間内に用意されているお弁当を食べなかった場合は、150ペソのペナルティとさせていただきます。

※弁当箱の持ち出しは、今まで通り、禁止とさせていただきます。時間内に食べるようにしてください。

※弁当箱は、時間内に所定の場所にご返却ください。

※ペナルティとして回収したお金は、貧しい方々を支援をしているボランティア団体へ寄付させていただきます。

■病院について

・風邪や熱、腹痛などで病院へ行きたい場合は、まずスタッフに連絡、パスポートと保険証を持参し、スタッフ付き添いのもと病院へ向かう、またはドクターを学校に呼び診察してもらうことも可能なので、どちらがいいかは学生の判断と要望を優先します

※ドクターを呼ぶ場合は、ドクターのスケジュールによって時間は左右されます

また病院へのタクシー費用は学生の負担となります

■レンタル品について

- ・冷蔵庫: 1000 ペソ/4 週
- ・ドライヤー: 300 ペソ/4 週
- ・wifi: 2000 ペソ/4 週 (本体 1000 ペソ、通信費 1000 ペソ)
- ・携帯: 500 ペソ

simカードは自己負担になります

※どのレンタル品も数に限りがあります

(貸出は 1 ヶ月単位、短期期間の方も 1 ヶ月分お支払頂きます)

■お部屋の変更に関して

学生側の都合により、お部屋のタイプをダウングレードする場合は、返金はありません

ただし、学校側の都合により、お部屋をダウングレードする場合には返金対象とします

単語テストについて

■単語テストは毎日 22 時にライブラリーで行います(ピークシーズンはダイニングも使用)

■単語テストは体調不良等、正当な理由での欠席以外認められません。3 回欠席すると退学処分となります。

■毎週日曜日に月曜日分の範囲を配布します(新入生は月曜日、テストは火曜日から)

■木曜のテストに合格(8 割)し、先週の日曜総合テストに合格(8 割)していれば金曜と土曜の門限が 24 時、もしくは外泊可能となります。外泊の際は必ず外泊届けを出すこと

※合格者は、金曜・土曜日のテストは自由参加となります

※木曜の不合格者で金曜のテストで合格すれば土曜のテストは自由参加

※日曜、木曜のテストを合格しない限り週末の外泊は出来ません

■日曜日の総合テストで合格点(8 割)をクリアしない場合は、翌週の週末は外泊禁止となります
外出について

■外出及び出入規定

・授業のある平日(8:00-17:00)は許可なく外出できません。

諸事情で外出が必要な場合オフィスにてマネージャーまたはスタッフの許可が必要

・来客は禁止

■出入り禁止場所

- ・カジノ、ギャンブル場 (ゲームをするしないに関わらず)
- ・マンゴースクエア(ダンスクラブ密集エリア)/学校前クラブ roof
- ・コロニア(ダウンタウン)/カルボンマーケット(貧困層マーケット)
- ・ビキニバー/ゲイバー/ストリップバー/風営法に関わるお店

※運営スタッフ側が認知した時点で、退学対象になります。

■外泊申請及び規定（単語テストの結果によって外泊許可が出るか決まります）

- ・許可期間: 毎週金曜日から(金・土)外泊が可能で、翌日授業がない場合(祝日など)その前日から外泊が可能(例: 金曜日が祝日の場合は木曜日の 17 時以降から外泊が可能)

※日曜日は外泊不可です

- ・申請方法: 外泊申請書(宿泊ホテル、または宿泊地域を明記)と安全事故同意書を、金曜日 17 時まで受付にて記入し提出すること

※外泊申請書に記載する内容は、万が一の場合学生の安全を確認するために必要となりますので、必ず宿泊ホテルまたは宿泊地域を記載してください

- ・原則、平日の外泊不可(家族訪問などの場合はマネージャーと必ず相談してから別途許可をもらうこと)

入寮/退寮に関して

■入寮/退寮に関して

(前泊/延泊: 1 人部屋 1,500 ペソ/日 2 人部屋 1,200 ペソ/日 3 人部屋 1,000 ペソ/日)

前泊や延泊の際、空室がある場合のみ滞在が可能です。現地にて直接学校側に追加費用の支払い頂きます。ただし、フライト時間の関係で学校内に滞在したい場合は、お部屋の滞在はできませんが自習室やラウンジ等での滞在は可能です

(1) 入寮: 入学週日曜日 14:00 から滞在可

(2) 退寮: 卒業週土曜日 12:00(昼)まで

【退出の流れ】

1. 金曜日(金曜が祝日の場合は木曜日)の17時までに電気代を引いた保証金の返金を受け取る。
2. 退寮当日:鍵と学校IDを学校のオフィススタッフに返却
タクシー代(約 200 ペソ前後)及び空港税の準備: 学校の空港までは各自タクシーを利用して移動(国際線航空税は 750 ペソ ※変更になる可能性あり)

学校規定について

■学校規定

- ・アルコール、ピストル、ナイフ、武器などの危険なものは持ち込み禁止
- ・乱暴、窃盗、器物破損などの暴力行為禁止
- ・正規時間外無断で学校建物への出入禁止
- ・飲食アレルギー、自分の疾病、身体的障害等について問題がある場合必ず学校への申し出が必要
- ・授業に参加する際は適切な服装を着用
(ショートパンツ、ミニスカート、キャミソール又はタンクトップなどは避ける)
- ・学生 ID カードは学校内及び授業に受ける際に必ず着用
- ・他国の文化及び生活方式を尊重し、敏感な会話(宗教、政治、歴史)などは慎む
- ・許可なしに相手のものには触れないこと
- ・食事時間遵守及び食器類の持ち出し禁止(1,000 ペソの罰金)

■退学及び警告

□退学:発見した場合、一度で退学処置とする(払い戻しなし)

- ・出入り禁止場所へ行く
- ・異性間のルーム出入り
- ・先生(スタッフ含む)と学生間の交際(学生は退学・先生は退社処分)
※先生との外出に関しては、男女2名での行動は禁止。必ず3名以上で行動する事
- ・インターネット上(SNSを含む)での誹謗中傷
- ・学校の名誉棄損及び財産上の損害を与えた場合
(学校は被害額に対する損害賠償請求可能)
- ・許可なく部外者(他校の生徒)を連れ込む
- ・日曜日の総合単語テストを欠席した場合
- ・酒類持ち込み、敷地内コンビニでの購入禁止(セキュリティ又は掃除スタッフが点検)
- ・室内喫煙・飲酒(セキュリティ又は掃除スタッフが点検)

□警告:下記行為を3回発見した場合は退学処置となります

- ・平日の単語テスト無断欠席
- ・門限違反(門限を過ぎて帰宅した場合)
- ・門限時間以降の外出(平日22時以降、土曜日及び祝日の前日00:00以降)
- ・寮の鍵を紛失または無断複写(ペナルティー1,000ペソ)
- ・22:00以降に大声で騒ぐなど

■門限規定

- ・門限時間:月曜日～木曜日・日曜日: 22:00
金曜,土曜及び祝日の前日: 24:00
※単語テストの合格が必須条件です。

入学金/払い戻しについて

■入学金

納付された入学金は払い戻しできません。入学金の有効期間は1年間となります

■学校授業料払い戻し規定

- (1) 日本にてお支払頂いた費用に関しては、代理店にお問合せください。
- (2) 現地にてお支払頂いた費用に関しては、学校からのご返金になります。
- (3) ホテルご利用の方に関しては、上記より、研修開始後のホテル費用を差引いてのご返金になります。(※ホテル費用に関しては、学校へお問合せください。)
- (4) 除籍(強制退学)の場合、一切のご返金はありません。
- (5) ご返金の際は、手続き頂いた代理店を通してお客様にご返金処理がなされます。

その他の費用について

■寮保障金:4週間以内 4000 ペソ/8週間以内 5000 ペソ/12週間以内 7000 ペソ
16週間以内 9000 ペソ/20週間 11000 ペソ/24週間 12000 ペソ

■電気代:

一人部屋:1週間/P650 2週間/P1300 3週間/P1950 4週間/P2600

二人部屋:1週間/P490 2週間/P980 3週間/P1470 4週間/P1960

三人部屋:1週間/P420 2週間/P840 3週間/P1260 4週間/P1680

(超過した場合は使用料に基づき請求いたします)

■水道代:4週間/P500(125ペソ/週)

(超過した場合は使用料に基づき請求いたします)

■ID CARD:350 ペソ

■SSP 発給費:6,500 ペソ

■教科書代:学生ごとに異なります。

■ビザ延長費

期間	入国から 29日間	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週
滞在 VISA 延長料 金	無料	3,940 ペソ	8,210 ペソ ※	3,240 ペ ソ	3,240 ペ ソ	3,240 ペソ

※ VISA 延長代行費 500 ペソ/回含む

※ 2回目の延長は ACR-I カード費用含む

■規定及び権限

- ・自然災害と天変地変、突発的な事態、空港の遅延及び取り消しまたは不可抗力の場合でサービスが提供できない場合は学校またはその代理人は損害賠償やいかなる法的責任を負わない
- ・本院の事前許可なしに行われた行動に対する人命損失・損害・被害などに対しては学校は一切の責任を負わない
- ・学校及びその他外部(外出及び旅行時)で発生した全ての事故及び紛失、疾病に対して学生本人に責任があり、学校は一切の責任を負わない
- ・学生登録時、義務的に加入する留学生保険及び旅行者保険の補償限度内に限り保障してもらえる。学校側の追加補償は行われない
- ・授業は月曜日から土曜日(半日)を基本とする
- ・学校は為替及び税金の引き上げ、その他の政府の法律条項または学校が統制できない事由が生ずる場合、価額を変動できる権限を持ち、教育内容の改善が必要と判断した際、開講日、教科課程及びプログラムを変動する権限を持つ
- ・学生が定められた学校規則を破る、授業を無断欠席する、暴力を振るう、不良態度など授業に対する関心がない行為や勉強雰囲気崩壊して支障をきたす場合、学校は注意または警告を与えられる。数回にわたり、注意や警告をしても改善されない場合、学校は該当学生を退学させる権限を持つ
- ・学校は不穏な目的で学生が主導し、集いを開き、学校側に損害を与えるなどした場合、該当学生を警告なしに即刻退学させる権限をもち、被害額に対して損害賠償請求ができる
- ・学生に問題が発生し退学措置前後または払い戻し時、学生の家族と該当エージェントにその問題及び結果を通報する権限を持つ

English Only Policy (EOP)

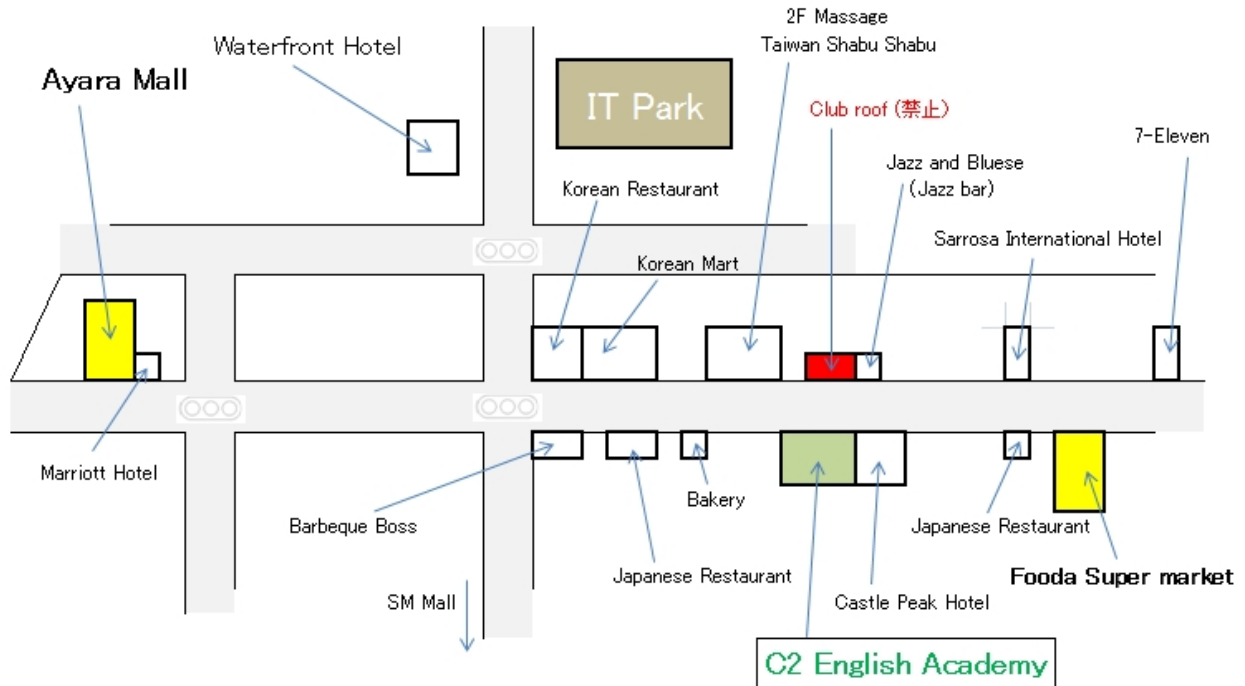
平日 8 時～17 時は校内母国語禁止
母国語を使った場合、5 ペソのペナルティー

対象エリア:学校内(1F&2F)

※ダイニング、キッチン、母国語でも大丈夫です。

※フィリピンの先生にとっても、英語は第2言語です。
進んで英語を話すようにしましょう。

学校周辺地図



■郵便について

学校名： Comprehensive Communication English Academy (c2)

住所： Pacific Square. Building C, F. Cabahug St. Mabolo Cebu City,
Philippines

TEL： +63 917 719 3677

Post cord: 6000

※日本から荷物を郵送してもらうことは可能です。本人が郵便局まで受け取りに行く形となり、また郵便局で受取料(約 50 ペソ)や税金(中身によって 190～500 ペソ程度)などがかかり、どれぐらいの期間を要するかははっきりとはわかりません

※追跡番号は必ず控えておいてください。受取の際はパスポートのコピーが必要

注意（フィリピンでの学生被害について）

・事例1：トランプ詐欺

被害： 現金約130万円。クレジットカードによる50万円相当の買い物

内容：セブ市SMモールで買い物をしていたところフィリピン人に声をかけられ意気投合して自宅に招待された。自宅に遊びに行くとカジノのディーラーと名乗る男にトランプの方法を教えるといわれレッスンを受ける。その後遊びに来るお金持ちと一緒にはめて儲けようという誘いに乗りゲームを始め、最初は勝ち続けるが最後に大負けしてしまい、多額のお金を要求される。セブ留学を終えてから他国に直接、留学で行く予定だった為、現金130万円を持っていたが、それを取られて、更にクレジットカードでも強制的に高額の買い物をさせられる。

・事例2：窃盗事件

被害： スマートフォン

内容：クラスメイトと2人でジブニーを使いSMモールへ行く途中で事件発生。

被害者学生は、肩掛けカバンにスマートフォン、財布のみを入れていた。ジブニー乗車中はカバンをしっかりとホルドしていたが、友達との会話に夢中となっていた。本人によると、隣の席に座っていた女性がコインを落とし拾おうとしたところ以外は特に変わった素振りはなかった。しかし、ジブニーを降りる際に、目の前に座っていた乗客より「カバンの中を確認してみて。」といわれ確認したところ、スマートフォンが盗まれていた。

事例3：銃撃事件

被害： 日本人・男性・20代

内容：日本人男性がITパーク近くの道を歩いていたところ、男にバイクに乗るよう誘われたそうです。バイクタクシーだと思った男性は、近くのアヤラモールに向かうように依頼しましたが、バイクの男は別の場所（バランガイ・アパス方面）に男性を連れて行き、そこで銃で取り出して強盗に及ぶ。日本人男性に対して、銃を向けて現金と貴重品を出すよう命じたが、男性はポケットの100ペソ札（約260円）のみ差し出し、強盗は激怒して受け取らず、もっと出すように脅しました。しかし、男性が泣きながら周囲に助けを求めたため、銃で男性の左太ももを撃って、バイクに乗って現場から逃走しました。男性は病院に運ばれ容態は安定しているようです。

事例4：誤認逮捕事件

被害： 韓国人・男性・20代

内容：マンゴースクウェアのバーで生徒が1人で飲んでいたら、自称イギリス人という男性とフィリピン人女性に声をかけられ、イギリス人に飲み物を奢ってもらい、飲んだ後に意識を失ってしまった。

目が覚めると生徒はホテルに居て、女性の服が破かれており女性が警察に通報して、そのまま警察署へ連行された。その後、取調べを受けたが生徒は飲み物を飲んだ後の記憶がなく何も応えられず留置所に入れられてしまった。学校職員は、生徒が留置場に入れられたという連絡をもらってすぐに、交渉代3万ペソを持って向かった。そして、指紋などの情報を取られて留置場で数時間を過ごした。

事例5：偽札事件

被害： 日本人・男性・20代

場所：セブ市マボロ地区セブンイレブン前

内容：フィリピン人男性から声を掛けられ、フィリピン人は500ペソを沢山持っていて3,000ペソ分を両替してもらいたいと言ってきた、生徒が1,000ペソならイイよ。と男性に渡したところ、1,000ペソ札なら必要ないやとフィリピン人に返された。しかし、コンビニで1,000ペソで買い物をしようとしたところ偽札だと言われた。返された1,000ペソ札は偽札にすり替えられていた。フィリピン人はジブニーに走って逃げて行った。

事例6：学校内窃盗事件

被害： 20代女・日本人学生

内容：被害者は、昼食後、自習室にパソコン等を持って行き、自習室にパソコンを置いたまま授業へ行く。その後、生徒はパソコンを自習室に置いている事を忘れており、金曜日、土曜日は自習室にパソコンを取りに行きませんでした。日曜日になり、パソコンが無いと気づき自習室へ行くも見当たらず、自分の部屋などを、探すも見つからない為、学校の学生アシスタントへ相談した。翌日、学校責任者に紛失の経緯を伝え、防犯カメラを確認したが捜索する範囲が広いため困難を要し、地元警察を呼んで対応したが見当たりませんでした。その場所の防犯カメラを確認したが画質がよくない為、犯人を特定する事ができませんでした。。